

## ☆年未年始の貸出拡大☆

図書館の年未年始の休館

12月29日(水)～1月3日(月)

長期休館にともない、

貸出冊数・貸出期間を一部拡大します。

(図書・雑誌) 貸出期間を **3週間**に拡大

12月14日(火)～12月28日(火)

(視聴覚資料) 貸出期間を **2週間**に拡大

12月21日(火)～12月28日(火)

合計 **15点**まで貸出可能

(雑誌は5点まで、視聴覚資料は1点まで)

※休館中の視聴覚資料以外の返却は、

本のポストをご利用ください。



直方市山部 301-11

TEL: 0949-25-2240

開館時間: 火～土 10:00～19:00

日・祝 10:00～17:00

## 展示案内

<一般展示>

謎を解け! ミステリーツアー

<児童展示>

のりもの大集合

～1/25(火)まで展示中



図書館HP



Facebook



## 図書館カレンダー・イベント

※新型コロナウイルス感染状況によっては、イベントが中止や変更となる場合があります。

### 12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	④
5	6	7	8	9	10	11
⑫	13	⑭	15	16	17	⑮
⑰	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4日(土)	10時～
	11時～
	14時～
12日(日)	10時～
	10時～
14日(火)	11時～
18日(土)	11時～
19日(日)	11時～

- ふるさと再発見! 講座 (要事前申込)
- ☆ ブラックパネルシアター (なのはな教室)
- おはなし会 (やまびこ会)
- ◆ おもちゃ病院 (受付終了: 13時)
- 冬のわくわく♪としょかん教室 (申込者のみ)
- 乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)
- おはなし会 (赤ずきん)
- おはなし会 (図書館職員)

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	⑪	12	13	14	⑮
⑰	17	18	19	20	21	⑳
㉓	24	25	26	27	28	㉑
30	31					

11日(火)	11時～
15日(土)	13時30分～
16日(日)	10時～
	14時～
22日(土)	14時～
23日(日)	11時～
29日(土)	10時～

- 乳幼児向けおはなし会 (麦のこ)
- おはなし会 (赤ずきん)
- ◆ おもちゃ病院 (受付終了: 13時)
- おはなし会 (れろの会)
- ☆ 土曜シアター (「三度目の殺人」124分)
- おはなし会 (図書館職員)
- ☆ としょかん♪こどもまつり

※詳しくは、館内チラシ・ホームページをご覧ください。

太字は17時閉館、■は休館、○は行事のある日です。



開催場所: ☆…ユメニティ小ホール ◆…図書館前ロビー

●…筑豊文庫資料室 □…ユメニティリハーサル室  
その他…おはなしコーナー

そっとおとどけ 2021年12月

テーマ

## 働く

毎月、司書がひとつのテーマにそって本を紹介します。

※【】は司書のペンネームです。

## 「わたしの美しい庭」

凧良 ゆう 著 Fナ

統理と百音、路有が住んでいるマンションの屋上には小さな神社があって、統理は大家兼神主兼翻訳家として働きながら、小学生の百音を育てている。ここには断ち物の神さまが祀られていて、「生きづらさ」を抱えた人たちが訪れてくる。皆、抱えているものがシビアだけれど、全体的に優しい視線で語られていて、読後は温かな気持ちになれる一冊。

【るー】

## 「したて屋 リセロット」

ナディーヌ・ウォルター 著 E953 ウ

ねずみのリセロットは服をつくるのが上手な働きもの。ところが、ねずみたちの服をつくってしまったので、仕事がなくなってしまいました。友達のモグラはほかの動物の服もつくればいいと言いました。小さな自分にできるのかりセロットは不安ですが…。

誰かのために、という気持ちは「働く」モチベーションになると気づかされるやさしいおはなし。

【kn<sup>2</sup>】

## 「なぜ僕らは働くのか」

池上 彰 監修 Y366 イ

中高生向けに書かれた本書には「君が幸せになるために考えてほしい大切なもの」という副題がつけられています。つまり本来労働は人生を豊かにし、その人を幸福にするものだ、とする考えにもとづいて書かれている訳です。

6つの章のそれぞれの冒頭は漫画でテーマを明確にし、章末で働く人の生の声を取り上げるメリハリのついた構成になっています。中高生だけでなく、大人も労働と幸福についてもう一度考えてみたくなる、そんな本です。

【キャラメル】

## 「モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん 修復家・岩井希久子の仕事」

岩井 希久子 著 724.9 イ

美術品修復とは、この世に1点しかない美術作品を後の世に残せるようにする仕事。作品が違えば行う処置も違ってくる大変な作業です。その修復の仕事の紹介だけでなく、著者がこの仕事にどのように向き合い、悩み、取り組んできたかが語られた一冊です。

展覧会や美術館の表側からは見えてこない修復の仕事。この本を読んだ後は、きっと美術館で作品を見る目が変わることでしょう。

【スタ子】

## 「メルリック まほうをなくしたまほうつかい」

デビッド・マッキー 著 E933 マ

国中のあらゆる仕事を魔法でやってあげていた魔法使いのメルリック。人々のためになっていると信じて一生懸命働いていましたが、ある日魔法が底をついてしまいます。ずっと魔法に頼ってきた人々は、失敗ばかりで困り果ててしまい…。

「まほうのちから」は便利ですが、それは本当に人々のためになっていたのでしょうか？ 力を取り戻すための、メルリックの大冒険にも注目です。

【アキ】

## 「最後の秘境東京藝大 天才たちのカオスな日常」

二宮 敦人 著 377.2 ニ

全国から選りすぐられた天才の卵たちが集まるところ、それが藝大である。プロの芸術家として認められる人は少ないし卒業後の保証もないが、自分の好きな事に時間と体力とお金をかけて没頭する姿は、かなりカオスではあるが、心惹かれる。無駄なものを作るために働くのが芸術家だという彼らの言葉に、「働く＝稼ぐ」のではない、働くことの意味を考えさせられた。

【Bee】